

**平成 27 年度名寄市公營企業會計**

**歳入歳出決算審査意見書**

**名 寄 市 監 査 委 員**

名 監 査 第 5 号  
平成 28 年 8 月 31 日

名 寄 市 長 加 藤 剛 士 様

名 寄 市 監 査 委 員 上 田 盛 一  
名 寄 市 監 査 委 員 佐 々 木 寿

平成 27 年度名寄市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された、平成 27 年度名寄市公  
営企業会計の決算について審査しましたので、別紙のとおりその意見を提出します。

## 目 次

1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法及び範囲	1
4	審査の結果	1

### 平成 27 年度名寄市病院事業会計（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）

#### ■ 決算について

1	業務概況	2
2	予算の執行状況	2
3	経営状況	5
4	審査意見	7
5	資料	
	別表(1) 業務実績表	8
	別表(2) 比較損益計算書	10
	別表(3) 比較貸借対照表	12
	別表(4) 総収益・総費用比較表	15
	別表(5) 経営・財務分析表	16
	別表(6) キャッシュ・フロー計算書内訳	20
	別表(7) 医療費未収金	21
	別表(8) 医業収益に対する費用項目の比率	22

### 平成 27 年度名寄市水道事業会計（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）

#### ■ 決算について

1	業務概況	23
2	予算の執行状況	23
3	経営状況	24
4	審査意見	27
5	資料	
	別表(1) 業務の概要	28
	別表(2) 比較損益計算書	29
	別表(3) 比較貸借対照表	30
	別表(4) 要素別費用比較表	32
	別表(5) 経営・財務分析表	33
	別表(6) キャッシュ・フロー計算書内訳	37

（注）文中及び各表中の比率等の用法は、次のとおりです。

（1）比率（％）：原則として、小数点以下第 2 位を四捨五入しています。

（2）「0.0」：「該当数値はあるが、0.05 未満のもの」を表しています。

（3）「-」：「該当数値なし」及び「算出不能または無意味なもの」を表しています。

（4）上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値とその内容の累計値とは一致しない場合があります。

# 平成 27 年度名寄市公営企業会計決算審査意見

## 1 審査の対象

平成 27 年度 名寄市病院事業会計決算

平成 27 年度 名寄市水道事業会計決算

## 2 審査の期間

平成 28 年 6 月 6 日 から 同年 8 月 22 日まで

## 3 審査の方法及び範囲

決算審査にあたっては、審査に付された決算報告書及び財務諸表並びに決算付属書類が、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されているか、これらの決算諸表が各事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか確かめるとともに、会計帳簿、証拠書類及びその他関係書類を照合し、計数の審査を行い、併せて事業の経営成績及び財政状態を分析し、さらには予算の執行状況と事務処理の適否等について審査しました。

なお、現金預金及び関連する証書類については、地方自治法第 235 条の 2 の規定に基づき、別に例月現金出納検査時において実施しているので本審査の対象外としました。

## 4 審査の結果

審査に付された各事業会計の決算報告書及び財務諸表並びに決算付属書類は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認めました。また、諸計数は正確であり、予算の執行状況も適切であると認めました。

# 平成 27 年度名寄市病院事業会計

## ■ 決算について

### 1 業務概況 【別表(1)(2) 8~11 ページ参照】

平成 27 年度の名寄市病院事業会計のうち、市立総合病院の業務実績をみると、年間患者数は入院 102,475 人、外来 227,621 人、合計 330,096 人で、前年度に比べて 7,133 人増加しています。1 日平均患者数は入院 280.0 人、外来 936.8 人となっており、病床利用率は 78.0%で前年度に比べて 6.2 ポイント増加しています。患者 1 人 1 日当たりの医業収益は入院収益 53,057 円、外来収益 9,383 円となっており、医業収益の総額は 78 億 9,366 万 277 円、医業費用の総額は 85 億 6,273 万 377 円となり、平成 27 年度の収支については 2 億 2,220 万 8,987 円の純損失が生じています。

一方、名寄東病院においては、年間患者数は入院 37,174 人、外来 3,619 人、合計 40,793 人で、前年度に比べて 144 人減少しています。1 日平均患者数は入院 101.6 人、外来 14.8 人となっており、病床利用率は 96.7%で前年度に比べて 0.3 ポイント増加しています。患者 1 人 1 日当たりの医業収益は入院収益 15,904 円、外来収益 4,770 円となっており、医業収益の総額は 6 億 873 万 72 円、医業費用の総額は 6 億 4,222 万 2,092 円となり、平成 27 年度の収支については 1,064 万 2,728 円の純利益が生じています。

## 2 予算の執行状況

### (1) 市立総合病院

#### ア 収益的収支の状況（税込）

収益的収入の決算額は 88 億 475 万 4,408 円となっており、予算に対する執行率は 102.5%です。収益的支出の決算額は 90 億 2,386 万 2,981 円となっており、予算に対する執行率は 99.8%です。

収益的収支の差引額は△2 億 1,910 万 8,573 円となり、前年度（△25 億 3,069 万 6,481 円）に比べて 23 億 1,158 万 7,908 円増となっています。

#### 【収益的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
医 業 収 益	7,841,291,000	7,904,182,420	62,891,420	100.8
医 業 外 収 益	606,751,000	693,357,810	86,606,810	114.3
特 別 利 益	142,047,000	207,214,178	65,167,178	145.9
合 計	8,590,089,000	8,804,754,408	214,665,408	102.5

#### 【収益的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
医 業 費 用	8,744,487,000	8,725,114,824	19,372,176	99.8
医 業 外 費 用	216,622,000	215,063,870	1,558,130	99.3
特 別 損 失	83,685,000	83,684,287	713	100.0
合 計	9,044,794,000	9,023,862,981	20,931,019	99.8

## イ 資本的収支の状況（税込）

資本的収入の決算額は8億2,496万9千円となっており、予算に対する執行率は90.6%です。資本的支出の決算額は12億1,376万1,413円となっており、予算に対する執行率は99.4%です。

資本的収支の不足額は3億8,879万2,413円であり、前年度（3億1,691万3,505円）に比べて7,187万8,908円（22.7%）増加しています。この不足額は、過年度分損益勘定留保資金で補填されています。

### 【資本的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
企 業 債	437,200,000	423,900,000	△13,300,000	97.0
寄 附 金	200,000	200,000	0	100.0
償 還 金	4,060,000	6,510,000	2,450,000	160.3
出 資 金	371,647,000	371,647,000	0	100.0
負 担 金	96,465,000	22,091,000	△74,374,000	22.9
道 補 助 金	621,000	621,000	0	100.0
国庫補助金	0	0	—	—
合 計	910,193,000	824,969,000	△85,224,000	90.6

### 【資本的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
建設改良費	463,322,000	456,703,442	6,618,558	98.6
償 還 金	718,548,000	718,547,971	29	100.0
投 資	38,860,000	38,510,000	350,000	99.1
合 計	1,220,730,000	1,213,761,413	6,968,587	99.4

## (2) 東病院

### ア 収益的収支の状況（税込）

収益的収入の決算額は6億6,758万2,801円となっており、予算に対する執行率は94.9%です。収益的支出の決算額は6億5,693万8,666円となっており、予算に対する執行率は99.0%です。

収益的収支の差引額は1,064万4,135円となり、前年度（122万6,254円）に比べて941万7,881円増となっています。

【収益的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
医 業 収 益	643,868,000	608,750,588	△35,117,412	94.5
医 業 外 収 益	59,536,000	58,832,213	△703,787	98.8
特 別 利 益	0	0	—	—
合 計	703,404,000	667,582,801	△35,821,199	94.9

【収益的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
医 業 費 用	662,459,000	656,130,417	6,328,583	99.0
医 業 外 費 用	945,000	808,249	136,751	85.5
特 別 損 失	0	0	—	—
合 計	663,404,000	656,938,666	6,465,334	99.0

イ 資本的収支の状況（税込）

資本的収入の決算額 580 万円は企業債で、予算に対する執行率は 100.0%です。資本的支出の決算額 798 万 8,220 円は建設改良費で、予算に対する執行率は 98.0%です。

【資本的収入】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	予算現額に対する 決算額の増減(円)	執行率(%)
企 業 債	5,800,000	5,800,000	0	100.0
寄 附 金	0	0	—	—
償 還 金	0	0	—	—
出 資 金	0	0	—	—
負 担 金	0	0	—	—
道 補 助 金	0	0	—	—
国庫補助金	0	0	—	—
合 計	5,800,000	5,800,000	0	100.0

【資本的支出】

科 目	予算現額(円)	決 算 額(円)	不 用 額(円)	執行率(%)
建 設 改 良 費	8,154,000	7,988,220	165,780	98.0
償 還 金	0	0	—	—
投 資	0	0	—	—
合 計	8,154,000	7,988,220	165,780	98.0



### 3 経営状況 【別表(2)(3)(4) 10～15 ページ参照】

#### (1) 市立総合病院

##### ア 収益

平成 27 年度の病院事業収益は、医業収益 78 億 9,366 万 277 円、医業外収益 6 億 8,399 万 279 円、特別利益 2 億 721 万 4,178 円、合計 87 億 8,486 万 4,734 円となっています。

医業収益は、入院収益 54 億 3,699 万 2,079 円、外来収益 21 億 3,567 万 7,578 円、他会計負担金 1 億 5,756 万 9 千円、その他医業収益 1 億 6,342 万 1,620 円となっており、病院事業収益全体の 89.9%を占めています。

医業外収益は、他会計負担金 3 億 7,542 万 7 千円、補助金 8,450 万 9,802 円、負担金交付金 7,385 万 9,380 円、長期前受金戻入 6,060 万 117 円が主なものであり、病院事業収益全体の 7.8%を占めています。

##### イ 費用

平成 27 年度の病院事業費用は、医業費用 85 億 6,273 万 377 円、医業外費用 3 億 6,146 万 7,057 円、特別損失 8,287 万 6,287 円、合計 90 億 707 万 3,721 円となっています。

医業費用は、給与費 49 億 8,858 万 828 円、材料費 20 億 6,944 万 5,450 円、経費 8 億 8,298 万 8,773 円、減価償却費 5 億 7,110 万 2,528 円が主なものであり、病院事業費用全体の 95.1%を占めています。

医業外費用は、雑支出 2 億 5,708 万 632 円が主なものであり、病院事業費用全体の 4.0%を占めています。

##### ウ 経営比率

比 率 名	算 式	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
経営資本医業利益率 (%)	$\frac{\text{医業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$ $\frac{\Delta 669,070,100}{10,687,867,712}$	<b>△6.26</b>	△6.79	△4.29
経営資本回転率 (回)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{経営資本}}$ $\frac{7,893,660,277}{10,687,867,712}$	<b>0.74</b>	0.69	0.52
医業収益医業利益率 (%)	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}} \times 100$ $\frac{\Delta 669,070,100}{7,893,660,277}$	<b>△8.48</b>	△9.90	△8.29

※上記算式において、

経営資本＝総資本－（建設仮勘定＋投資＋繰延資産）

医業利益＝医業収益－医業費用

（注）経営資本回転率は、高いほど良く、病院事業では 1.0 回転が平均となっています。

## (2) 東病院

### ア 収 益

平成 27 年度の病院事業収益は、医業収益 6 億 873 万 72 円、医業外収益 5,870 万 3,295 円、合計 6 億 6,743 万 3,367 円となっています。

医業収益は、入院収益 5 億 9,121 万 880 円、外来収益 1,726 万 2,585 円、その他医業収益 25 万 6,607 円であり、病院事業収益全体の 91.2%を占めています。

医業外収益は、他会計補助金 4,787 万 7 千円、長期前受金戻入 889 万 1,714 円、その他医業外収益 161 万 9,581 円、補助金 31 万 5 千円であり、病院事業収益全体の 8.8%を占めています。

### イ 費 用

平成 27 年度の病院事業費用は、医業費用 6 億 4,222 万 2,092 円、医業外費用 1,456 万 8,547 円、合計 6 億 5,679 万 639 円となっています。

医業費用は、経費 6 億 1,845 万 4,521 円、減価償却費 2,376 万 7,571 円であり、病院事業費用全体の 97.8%を占めています。

医業外費用は雑支出が主なものであり、病院事業費用全体の 2.2%を占めています。

### ウ 経営比率

比 率 名	算 式	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
経営資本医業利益率 (%)	$\frac{\text{医業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$ $\frac{\Delta 33,492,020}{682,781,182}$	<b>△4.91</b>	△5.17	△4.14
経営資本回転率 (回)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{経営資本}}$ $\frac{608,730,072}{682,781,182}$	<b>0.89</b>	0.94	0.81
医業収益医業利益率 (%)	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}} \times 100$ $\frac{\Delta 33,492,020}{608,730,072}$	<b>△5.50</b>	△5.50	△5.11

※上記算式において、

経営資本＝総資本－（建設仮勘定＋投資＋繰延資産）

医業利益＝医業収益－医業費用

（注）経営資本回転率は、高いほど良く、病院事業では 1.0 回転が平均となっています。

#### 4 審査意見

平成 27 年度病院事業決算のうち、市立総合病院については、1 業務概況、2 予算の執行状況及び 3 経営状況は前述のとおりで、平成 27 年度は前年度と比べ 23 億 905 万 7,424 円減となる 2 億 2,220 万 8,987 円の純損失が生じた決算となっています。この大幅な減となった要因は、前年度は会計規則改定初年度のため、多額の退職手当引当金を計上したことによるものです。

このことにより、経営状況の成否の判断指数となる総収支比率は、20.08 ポイント増の 97.53% となりました。

なお、平成 27 年度末の累積欠損金は 2 億 2,220 万 8,987 円増の 54 億 7,457 万 443 円となり、事業体の経営状況が健全な状態にあるかどうかを判断する営業収益に対する累積欠損金の割合を示す累積欠損金比率は 0.67 ポイント減の 69.35% でした。資金不足額は△6 億 8,019 万 6,335 円、資金不足比率は△8.62% となり、資金不足は発生していません。

医療費未収金（患者負担分）〔別表（7）〕は、収入率は前年度と比較して現年度分は 91.72% で 1.67 ポイント低下、過年度分は 60.87% で 1.68 ポイント向上していますが、負担の公平性と歳入の確保の観点から、今後も未収防止のため、未収金回収体制の充実・強化を望みます。

多くの公立病院において、医師不足に伴い診療体制の縮小を余儀なくされるなど、経営環境や医療提供体制の維持が極めて難しい状況の中にあつて、市立総合病院は前年度と同様の診療体制を維持し、高度・特殊医療、急性期医療から慢性期医療、第一次救急から第三次救急、救急・小児・周産期等の不採算分野と言われる医療まで、すべての医療を担うほか、サテライト診療や地方への医師派遣など地域医療支援事業へ積極的に取り組んできています。

平成 27 年 8 月には、旭川以北で唯一となる救命救急センターの指定を受け、12 月にはドクターカーの運用が開始となり、平成 27 年 2 月から運用開始された地域包括ケア病棟で急性期医療から在宅への移行支援も実施され、道北第三次保健医療福祉圏の地方センター病院として引き続き、高度・専門医療に対応できる医療機能を充実し、屋上ヘリポートの運用とともに、ますます地域の基幹病院としての重要度も高まり、地方・地域センター病院としての重要な役割がより一層期待されます。

名寄市病院事業長期計画（平成 24～28 年度）の運営基本計画に基づいた取り組みを進めてきていますが、平成 28 年度を始期とする新名寄市病院事業改革プランにおいて、さらなる経営改善を図り、より一層の患者サービスに努め、地域医療の中核を担う公立病院として、安定的かつ自立的な経営の下で、信頼性の高い医療を提供されることを強く望むものです。

次に、名寄東病院については、平成 27 年度決算（税込）の収益費用差引額は、1,064 万 4,135 円となり、前年度と比較すると 941 万 7,881 円の増となりました。なお、損益計算書（税抜）では前年度と比較すると 942 万 7,020 円増となる 1,064 万 2,728 円の純利益が生じました。

経営状況の成否の判断指数となる総収支比率は、1.44 ポイント増の 101.62%、資金不足額は、△2 億 3,528 万 5,150 円、資金不足比率は△38.65% となり、資金不足は発生していません。

医療費未収金（患者負担分）〔別表（7）〕は、収入率は前年度と比較して現年度分は 91.90% で 0.29 ポイント低下、過年度分は 93.17% で 4.77 ポイント低下しており、今後は未収防止に向けた対策も必要と考えます。

平成 27 年度は医療スタッフ総数 92 名の体制で、高齢社会に対応した長期療養者への医療サービスの提供と、加えてミニ検診等が徐々に増えてきており、地域にとって欠かすことのできない重要な役割を担っています。

今後も、地域により一層密着した施設として、市内の医療機関はもとより、近隣医療機関との診療情報の連携を密にし、効率的な運営が図られますよう強く期待します。

別表(1)

## 業 務 実 績 表

市立総合病院 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1 患者数

ア 年間患者数

区 分	27年度 A (人)	26年度 B (人)	対前年度比 A/B (%)	25年度 C (人)	対前年度比 B/C (%)
入 院	102,475	96,388	106.3	101,755	94.7
一 般 病 床	83,196	78,707	105.7	84,619	93.0
精 神 病 床	19,279	17,681	109.0	17,136	103.2
感 染 症 病 床	0	0	—	0	—
外 来	227,621	226,575	100.5	223,161	101.5
一 般 科	199,103	199,622	99.7	197,120	101.3
精 神 科	28,518	26,953	105.8	26,041	103.5

イ 1日平均患者数

区 分	27年度 A (人)	26年度 B (人)	対前年度比 A/B (%)	25年度 C (人)	対前年度比 B/C (%)
入 院	280.0	264.0	106.1	278.7	94.7
一 般 病 床	227.3	215.6	105.4	231.8	93.0
精 神 病 床	52.7	48.4	108.9	46.9	103.2
感 染 症 病 床	0.0	0.0	—	0.0	—
外 来	936.8	924.8	101.3	910.9	101.5
一 般 科	819.4	814.8	100.6	804.6	101.3
精 神 科	117.4	110.0	106.7	106.3	103.5

2 患者1人1日当たり平均診療収入金額

区 分	27年度 A (円)	26年度 B (円)	対前年度比 A/B (%)	25年度 C (円)	対前年度比 B/C (%)
入 院	53,057	52,534	101.0	49,035	107.1
外 来	9,383	9,366	100.2	9,166	102.2

3 病床利用率

区 分	27年度 A (%)	26年度 B (%)	対前年度 A-B	25年度 C (%)	対前年度 B-C
入 院	78.0	71.8	+6.2	59.4	+12.4
一 般 病 床 (300床)	75.8	71.9	+3.9	77.3	-5.4
精 神 病 床 (55床)	95.8	75.6	+20.2	28.5	+47.1
感 染 症 病 床 (4床)	0.0	0.0	—	0.0	—

**東 病 院** (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

1 患者数

ア 年間患者数

区 分	27 年度 A (人)	26 年度 B (人)	対前年度比 A/B (%)	25 年度 C (人)	対前年度比 B/C (%)
入 院	37,174	36,951	100.6	37,532	98.5
医療療養病床	37,174	36,951	100.6	37,532	98.5
外 来	3,619	3,986	90.8	3,806	104.7
内 科	3,535	3,777	93.6	3,608	104.7
脳神経外科	26	25	104.0	31	80.6
リハビリ科	58	184	31.5	167	110.2

イ 1日平均患者数

区 分	27 年度 A (人)	26 年度 B (人)	対前年度比 A/B (%)	25 年度 C (人)	対前年度比 B/C (%)
入 院	101.6	101.2	100.4	102.8	98.4
医療療養病床	101.6	101.2	100.4	102.8	98.4
外 来	14.8	16.3	90.8	15.5	105.2
内 科	14.5	15.4	94.2	14.7	104.8
脳神経外科	0.1	0.1	100.0	0.1	100.0
リハビリ科	0.2	0.8	25.0	0.7	114.3

2 患者 1 人 1 日当たり平均診療収入金額

区 分	27 年度 A (円)	26 年度 B (円)	対前年度比 A/B (%)	25 年度 C (円)	対前年度比 B/C (%)
入 院	15,904	16,631	95.6	16,663	99.8
外 来	4,770	4,899	97.4	4,830	101.4

3 病床利用率

区 分	27 年度 A (%)	26 年度 B (%)	対前年度 A-B (%)	25 年度 C (%)	対前年度 B-C (%)
医療療養病床 (105 床)	96.7	96.4	+0.3	97.9	-1.5

別表(2)

## 比較損益計算書(税抜)

(単位:円・%)

科 目	平成 27 年 度						平成 26 年 度		対前年差引額
	市立総合病院		東 病 院		合 計		合 計		
	金 額	対医業 収益比	金 額	対医業 収益比	金 額	対医業 収益比	金 額	対医業 収益比	
医 業 収 益 A	7,893,660,277	100.0	608,730,072	100.0	8,502,390,349	100.0	8,135,794,240	100.0	366,596,109
入 院 収 益	5,436,992,079	68.9	591,210,880	97.1	6,028,202,959	70.9	5,678,211,301	69.8	349,991,658
外 来 収 益	2,135,677,578	27.1	17,262,585	2.8	2,152,940,163	25.3	2,141,710,504	26.3	11,229,659
他 会 計 負 担 金	157,569,000	2.0	0	—	157,569,000	1.9	156,774,000	1.9	795,000
そ の 他 医 業 収 益	163,421,620	2.1	256,607	0.0	163,678,227	1.9	159,098,435	2.0	4,579,792
医 業 費 用 B	8,562,730,377	108.5	642,222,092	105.5	9,204,952,469	108.3	8,913,031,278	109.6	291,921,191
給 与 費	4,988,580,828	63.2	0	—	4,988,580,828	58.7	4,857,540,626	59.7	131,040,202
材 料 費	2,069,445,450	26.2	0	—	2,069,445,450	24.3	1,924,263,411	23.7	145,182,039
経 費	882,988,773	11.2	618,454,521	101.6	1,501,443,294	17.7	1,505,522,162	18.5	△ 4,078,868
減 価 償 却 費	571,102,528	7.2	23,767,571	3.9	594,870,099	7.0	576,015,203	7.1	18,854,896
資 産 減 耗 費	11,960,427	0.2	0	—	11,960,427	0.1	10,613,719	0.1	1,346,708
交 際 費	1,544,559	0.0	0	—	1,544,559	0.0	2,084,760	0.0	△ 540,201
研 究 研 修 費	37,107,812	0.5	0	—	37,107,812	0.4	36,991,397	0.5	116,415
医 業 利 益 A-B=C	△ 669,070,100		△ 33,492,020		△ 702,562,120		△ 777,237,038		74,674,918
医 業 外 収 益 D	683,990,279	8.7	58,703,295	9.6	742,693,574	8.7	856,235,269	10.5	△ 113,541,695
受 取 利 息 配 当 金	192	0.0	0	—	192	0.0	174	0.0	18
他 会 計 補 助 金	22,755,000	0.3	47,877,000	7.9	70,632,000	0.8	175,786,000	2.2	△ 105,154,000
他 会 計 負 担 金	375,427,000	4.8	0	—	375,427,000	4.4	405,703,000	5.0	△ 30,276,000
そ の 他 医 業 外 収 益	44,098,644	0.6	1,619,581	0.3	45,718,225	0.5	43,681,144	0.5	2,037,081
補 助 金	84,509,802	1.1	315,000	0.1	84,824,802	1.0	80,453,090	1.0	4,371,712
受 託 料	9,934,257	0.1	0	—	9,934,257	0.1	10,617,706	0.1	△ 683,449
負 担 金 交 付 金	73,859,380	0.9	0	—	73,859,380	0.9	55,285,330	0.7	18,574,050
保 育 施 設 収 益	12,805,887	0.2	0	—	12,805,887	0.2	11,807,898	0.1	997,989
長 期 前 受 金 戻 入	60,600,117	0.8	8,891,714	1.5	69,491,831	0.8	72,900,927	0.9	△ 3,409,096

医 業 外 費 用 E	361,467,057	4.6	14,568,547	2.4	376,035,604	4.4	391,261,483	4.8	△ 15,225,879
支払利息及び企業債取扱諸費	73,731,995	0.9	102,936	0.0	73,834,931	0.9	82,237,476	1.0	△ 8,402,545
保 育 施 設 費	30,654,430	0.4	0	—	30,654,430	0.4	29,937,324	0.4	717,106
雑 支 出	257,080,632	3.3	14,465,611	2.4	271,546,243	3.2	279,086,683	3.4	△ 7,540,440
医 業 外 利 益 D-E F	322,523,222		44,134,748		366,657,970		464,973,786		△ 98,315,816
経 常 利 益 C+F G	△ 346,546,878		10,642,728		△ 335,904,150		△ 312,263,252		△ 23,640,898
特 別 利 益 H	207,214,178	2.6	0	—	207,214,178	2.4	390,733,296	4.8	△ 183,519,118
過 年 度 損 益 修 正 益	9,303,178	0.1	0	—	9,303,178	0.1	89,250,870	1.1	△ 79,947,692
そ の 他 特 別 利 益	197,911,000	2.5	0	—	197,911,000	2.3	301,482,426	3.7	△ 103,571,426
特 別 損 失 I	82,876,287	1.0	0	—	82,876,287	1.0	2,608,520,747	32.1	△ 2,525,644,460
過 年 度 損 益 修 正 損	65,776,287	0.8	0	—	65,776,287	0.8	4,330,611	0.1	61,445,676
そ の 他 特 別 損 失	17,100,000	0.2	0	—	17,100,000	0.2	2,604,190,136	32.0	△ 2,587,090,136
当 年 度 純 利 益 G+H-I= J	△ 222,208,987		10,642,728		△ 211,566,259		△ 2,530,050,703		2,318,484,444

別表(3)

## 比較貸借対照表

(単位:円・%)

科 目		借 方								対前年差引額
		平成27年度				平成26年度				
		市立総合病院		東病院		合 計		合 計		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
資 産 の 部	固 定 資 産	9,361,414,172	86.8	447,278,096	65.5	9,808,692,268	85.5	9,986,095,527	85.4	△ 177,403,259
	有 形 固 定 資 産	9,232,717,194	85.6	425,354,268	62.3	9,658,071,462	84.2	9,857,134,751	84.3	△ 199,063,289
	土 地	664,115,118	6.2	112,000,000	16.4	776,115,118	6.8	776,808,118	6.6	△ 693,000
	建 築 物	7,102,079,641	65.8	264,289,813	38.7	7,366,369,454	64.2	7,564,118,548	64.7	△ 197,749,094
	構 築 物	196,588,404	1.8	0	—	196,588,404	1.7	212,449,820	1.8	△ 15,861,416
	機 器 備 品	1,219,248,317	11.3	49,051,576	7.2	1,268,299,893	11.1	1,239,759,863	10.6	28,540,030
	車 両	5,089,695	0.0	12,879	0.0	5,102,574	0.0	3,976,800	0.0	1,125,774
	リ ー ス 資 産	33,052,780	0.3	0	—	33,052,780	0.3	57,321,602	0.5	△ 24,268,822
	建 設 仮 勘 定	12,543,239	0.1	0	—	12,543,239	0.1	2,700,000	0.0	9,843,239
	無 形 固 定 資 産	42,618,978	0.4	21,923,828	3.2	64,542,806	0.6	51,122,776	0.4	13,420,030
	ソ フ ト ウ ェ ア	42,618,978	0.4	21,923,828	3.2	64,542,806	0.6	51,122,776	0.4	13,420,030
	投 資	86,078,000	0.8	0	—	86,078,000	0.8	77,838,000	0.7	8,240,000
	長 期 貸 付 金	86,078,000	0.8	0	—	86,078,000	0.8	77,838,000	0.7	8,240,000
	流 動 資 産	1,425,074,779	13.2	235,503,086	34.5	1,660,577,865	14.5	1,709,091,950	14.6	△ 48,514,085
	現 金 及 び 預 金	73,795,138	0.7	128,555,143	18.8	202,350,281	1.8	318,414,072	2.7	△ 116,063,791
未 収 金	1,318,028,188	12.2	106,947,943	15.7	1,424,976,131	12.4	1,360,024,374	11.6	64,951,757	
有 価 証 券	500,000	0.0	0	—	500,000	0.0	500,000	0.0	0	
貯 蔵 品	32,751,453	0.3	0	—	32,751,453	0.3	30,153,504	0.3	2,597,949	
資 産 合 計	10,786,488,951	100.0	682,781,182	100.0	11,469,270,133	100.0	11,695,187,477	100.0	△ 225,917,344	



		貸 方								
科 目		平成 27 年 度						平成 26 年 度		対前年差引額
		市立総合病院		東 病 院		合 計		合 計		
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
負 債 の 部	固 定 負 債	7,547,753,116	70.0	53,835,306	7.9	7,601,588,422	66.3	8,080,398,970	69.1	△ 478,810,548
	企 業 債	6,129,386,667	56.8	53,835,306	7.9	6,183,221,973	53.9	6,456,873,527	55.2	△ 273,651,554
	建設改良の財源に充てるための企業債	6,000,359,441	55.6	53,835,306	7.9	6,054,194,747	52.8	6,326,273,527	54.1	△ 272,078,780
	その他の企業債	129,027,226	1.2	0	—	129,027,226	1.1	130,600,000	1.1	△ 1,572,774
	リース債務	2,786,449	0.0	0	—	2,786,449	0.0	17,034,443	0.1	△ 14,247,994
	引当金	1,415,580,000	13.1	0	—	1,415,580,000	12.3	1,606,491,000	13.7	△ 190,911,000
	退職給付引当金	1,415,580,000	13.1	0	—	1,415,580,000	12.3	1,606,491,000	13.7	△ 190,911,000
	流 動 負 債	1,591,163,203	14.8	7,082,630	1.0	1,598,245,833	13.9	1,458,637,835	12.5	139,607,998
	企 業 債	696,486,860	6.5	6,864,694	1.0	703,351,554	6.1	718,547,971	6.1	△ 15,196,417
	建設改良の財源に充てるための企業債	694,914,086	6.4	6,864,694	1.0	701,778,780	6.1	718,547,971	6.1	△ 16,769,191
	その他の企業債	1,572,774	0.0	0	—	1,572,774	0.0	0	—	1,572,774
	リース債務	14,247,994	0.1	0	—	14,247,994	0.1	16,880,690	0.1	△ 2,632,696
	未払金	584,422,793	5.4	217,936	0.0	584,640,729	5.1	442,402,810	3.8	142,237,919
	引当金	261,531,745	2.4	0	—	261,531,745	2.3	248,002,471	2.1	13,529,274
	賞与引当金	224,196,117	2.1	0	—	224,196,117	2.0	210,584,267	1.8	13,611,850
	法定福利費引当金	37,335,628	0.3	0	—	37,335,628	0.3	37,418,204	0.3	△ 82,576
	預り金	34,473,811	0.3	0	—	34,473,811	0.3	32,803,893	0.3	1,669,918
	繰 延 収 益	1,216,057,318	11.3	262,517,119	38.4	1,478,574,437	12.9	1,545,369,972	13.2	△ 66,795,535
	長期前受金	1,216,057,318	11.3	262,517,119	38.4	1,478,574,437	12.9	1,545,369,972	13.2	△ 66,795,535
	受贈財産評価額	1,229,422	0.0	258,969,129	37.9	260,198,551	2.3	268,960,845	2.3	△ 8,762,294
	寄附金	9,480,293	0.1	0	—	9,480,293	0.1	12,192,437	0.1	△ 2,712,144
補助金	796,780,560	7.4	3,547,990	0.5	800,328,550	7.0	837,683,210	7.2	△ 37,354,660	
他会計負担金	408,567,043	3.8	0	—	408,567,043	3.6	426,533,480	3.6	△ 17,966,437	
負 債 合 計	10,354,973,637	96.0	323,435,055	47.4	10,678,408,692	93.1	11,084,406,777	94.8	△ 405,998,085	

資 本 の 部	資 本 金	5,559,709,362	51.5	36,503,250	5.3	5,596,212,612	48.8	5,224,565,612	44.7	371,647,000
	自 己 資 本 金	5,559,709,362	51.5	36,503,250	5.3	5,596,212,612	48.8	5,224,565,612	44.7	371,647,000
	固 有 資 本 金	16,135,320	0.1	0	—	16,135,320	0.1	16,135,320	0.1	0
	繰 入 資 本 金	5,357,522,000	49.7	36,503,250	5.3	5,394,025,250	47.0	5,022,378,250	42.9	371,647,000
	組 入 資 本 金	186,052,042	1.7	0	—	186,052,042	1.6	186,052,042	1.6	0
	剰 余 金	△ 5,128,194,048	△ 47.5	322,842,877	47.3	△ 4,805,351,171	△ 41.9	△ 4,613,784,912	△ 39.5	△ 191,566,259
	資 本 剰 余 金	346,376,395	3.2	112,200,000	16.4	458,576,395	4.0	438,576,395	3.8	20,000,000
	受 贈 財 産 評 価 額	15,696,054	0.1	112,000,000	16.4	127,696,054	1.1	127,696,054	1.1	0
	寄 附 金	8,893,533	0.1	200,000	0.0	9,093,533	0.1	9,093,533	0.1	0
	補 助 金	61,529,201	0.6	0	—	61,529,201	0.5	61,529,201	0.5	0
	他 会 計 負 担 金	260,257,607	2.4	0	—	260,257,607	2.3	240,257,607	2.1	20,000,000
	利 益 剰 余 金	△ 5,474,570,443	△ 50.8	210,642,877	30.9	△ 5,263,927,566	△ 45.9	△ 5,052,361,307	△ 43.2	△ 211,566,259
	前年度未処分利益剰余金 (△前年度未処理欠損金)	△ 5,252,361,456	△ 48.7	200,000,149	29.3	△ 5,052,361,307	△ 44.1	△ 2,716,044,123	△ 23.2	△ 2,336,317,184
	当 年 度 純 利 益 (△当年度純損失)	△ 222,208,987	△ 2.1	10,642,728	1.6	△ 211,566,259	△ 1.8	△ 2,530,050,703	△ 21.6	2,318,484,444
	その他未処分利益剰余金変動額							193,733,519	1.7	△ 193,733,519
資 本 合 計	431,515,314	4.0	359,346,127	52.6	790,861,441	6.9	610,780,700	5.2	180,080,741	
負 債 ・ 資 本 合 計	10,786,488,951	100.0	682,781,182	100.0	11,469,270,133	100.0	11,695,187,477	100.0	△ 225,917,344	

別表(4)

## 総収益・総費用比較表

(単位：円・%)

科 目	平成 27 年 度						平成 26 年 度		対前年差引額
	市立総合病院		東 病 院		合 計		合 計		
	金 額	対総収 益比	金 額	対総収 益比	金 額	対総収 益比	金 額	対総収 益比	
総 収 益	8,784,864,734	100.0	667,433,367	100.0	9,452,298,101	100.0	9,382,762,805	100.0	69,535,296
医 業 収 益	7,893,660,277	89.9	608,730,072	91.2	8,502,390,349	90.0	8,135,794,240	86.7	366,596,109
医 業 外 収 益	683,990,279	7.8	58,703,295	8.8	742,693,574	7.9	856,235,269	9.1	△ 113,541,695
特 別 利 益	207,214,178	2.4	0	—	207,214,178	2.2	390,733,296	4.2	△ 183,519,118
総 費 用	9,007,073,721	102.5	656,790,639	98.4	9,663,864,360	102.2	11,912,813,508	127.0	△ 2,248,949,148
		(55.4)		(0.0)		(51.6)		(40.8)	
給 与 費	4,988,580,828	56.8	0	—	4,988,580,828	52.8	4,857,540,626	51.8	131,040,202
材 料 費	2,069,445,450	23.6	0	—	2,069,445,450	21.9	1,924,263,411	20.5	145,182,039
経 費	882,988,773	10.1	618,454,521	92.7	1,501,443,294	15.9	1,505,522,162	16.0	△ 4,078,868
減 価 償 却 費	571,102,528	6.5	23,767,571	3.6	594,870,099	6.3	576,015,203	6.1	18,854,896
資 産 減 耗 費	11,960,427	0.1	0	—	11,960,427	0.1	10,613,719	0.1	1,346,708
交 際 費	1,544,559	0.0	0	—	1,544,559	0.0	2,084,760	0.0	△ 540,201
研 究 研 修 費	37,107,812	0.4	0	—	37,107,812	0.4	36,991,397	0.4	116,415
支払利息及び企業債取扱諸費	73,731,995	0.8	102,936	0.0	73,834,931	0.8	82,237,476	0.9	△ 8,402,545
(うち一時借入金利息)	(495,342)		(0)		(495,342)		(583,752)		(△88,410)
そ の 他	287,735,062	3.3	14,465,611	2.2	302,200,673	3.2	309,024,007	3.3	△ 6,823,334
特 別 損 失	82,876,287	0.9	0	—	82,876,287	0.9	2,608,520,747	27.8	△ 2,525,644,460
当 年 度 純 利 益	△ 222,208,987	△ 2.5	10,642,728	1.6	△ 211,566,259	△ 2.2	△ 2,530,050,703	△ 27.0	2,318,484,444

(注) 対総収益比欄の( )内の数値は、給与費の総費用に占める割合です。

## 経営・財務分析表

## 1. 収益率 (収益と費用とを対比して病院事業経営の成果を表すもので、その比率は大きいほど良好である。)

(1) 総収支比率 (%)	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$															
	総収支比率は、総収益を上げるのに、どれだけの費用がかかったかの割合を示すもので、この率が100%未満であれば純損失を生じており、経営の安定が損なわれていることを示す。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>27年度</th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市立総合病院</td> <td>97.53</td> <td>77.45</td> <td>96.31</td> </tr> <tr> <td>東 病 院</td> <td>101.62</td> <td>100.18</td> <td>101.25</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	27年度	26年度	25年度	市立総合病院	97.53	77.45	96.31	東 病 院	101.62	100.18	101.25			
年 度	27年度	26年度	25年度													
市立総合病院	97.53	77.45	96.31													
東 病 院	101.62	100.18	101.25													
(2) 経常収支比率 (%)	$\frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$															
	経常収支比率は、経常費用(医業費用+医業外費用)が経常収益(医業収益+医業外収益)によってどの程度賄われているかを示す指標。100%未満であれば経常損失が生じている。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>27年度</th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市立総合病院</td> <td>96.12</td> <td>96.36</td> <td>97.61</td> </tr> <tr> <td>東 病 院</td> <td>101.62</td> <td>100.18</td> <td>101.25</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	27年度	26年度	25年度	市立総合病院	96.12	96.36	97.61	東 病 院	101.62	100.18	101.25			
年 度	27年度	26年度	25年度													
市立総合病院	96.12	96.36	97.61													
東 病 院	101.62	100.18	101.25													
(3) 医業収支比率 (%)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$															
	医業収支比率は、医業事業によってもたらされた医業収益と、それに要した医業費用とを対比して医業事業の能率効果測定を判断するもので、経営の良否がうかがえる。この比率は高いほど良好である。通常100%以上あればよい。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>27年度</th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市立総合病院</td> <td>92.19</td> <td>91.00</td> <td>92.34</td> </tr> <tr> <td>東 病 院</td> <td>94.79</td> <td>94.79</td> <td>95.14</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	27年度	26年度	25年度	市立総合病院	92.19	91.00	92.34	東 病 院	94.79	94.79	95.14			
年 度	27年度	26年度	25年度													
市立総合病院	92.19	91.00	92.34													
東 病 院	94.79	94.79	95.14													

## 2. 財務比率 (貸借対照表における資産と負債又は資本との相互関係を表すものである。)

(1) 固定比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$ ※注1															
	固定比率は、自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。病院事業の場合は、建設投資のための財源として企業債に依存する割合が高いために、必然的にこの比率が高くなっている。固定比率が100%を超えていても、固定長期適合率(固定資産対長期資本比率)が100%を下回ってれば、長期的な資本の枠内の投資が行われているということで、必ずしも不健全な状態とはいえないとされている。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>27年度</th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市立総合病院</td> <td>568.19</td> <td>619.94</td> <td>240.53</td> </tr> <tr> <td>東 病 院</td> <td>71.93</td> <td>74.77</td> <td>74.56</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	27年度	26年度	25年度	市立総合病院	568.19	619.94	240.53	東 病 院	71.93	74.77	74.56			
年 度	27年度	26年度	25年度													
市立総合病院	568.19	619.94	240.53													
東 病 院	71.93	74.77	74.56													

## (2) 固定長期適合率(%)

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100 \quad \text{※注1}$$

固定資産の調達が、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から少なくとも100%以下であることが望ましく、100%を超えた場合は、固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	101.81	99.59	91.21
東 病 院	66.19	68.69	74.56

## (3) 流動比率 (%)

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

流動比率は、一年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	89.56	102.68	133.78
東 病 院	3,325.08	203,333.72	277,762.21

## (4) 当座(酸性試験)比率 (%)

$$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100 \quad \text{※注1}$$

流動資産のうち現金預金と容易に現金化しうる未収金が、流動負債100%以上に確保されているか否かを示すもので、当座の支払能力の有無を判断する目安となる。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	87.47	100.58	132.52
東 病 院	3,325.08	203,333.72	277,762.21

### 3. 回転率、回転期間 (回転率は、企業の活動性を示すもので、これらの比率は大きいほど資本が効率的に使われていることを表すものである。)

## (1) 自己資本回転率(回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) / 2} \quad \text{※注1}$$

自己資本回転率は、自己資本に対する医業収益の割合であり、期間中に自己資本の何倍の医業収益があったかを示すものである。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	4.96	4.97	1.80
東 病 院	0.98	1.02	0.82

## (2) 固定資産回転率(回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2}$$

固定資産回転率は、企業の取引量である医業収益と設備資産に投下された資本の関係で、設備利用の適否をみるためのものである。回転率が高い場合は、施設が有効に稼働していることを示す。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	0.84	0.77	0.81
東 病 院	1.34	1.43	1.09

## (3) 流動資産回転率（回）

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$$

流動資産回転率は、現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を含むものであり、これらの回転率が高くなれば、それに応じて高くなるものである。高いほど運用形態がよい。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	5.40	2.76	2.68
東 病 院	2.72	3.07	3.32

## (4) 未収金回転率（回）

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) / 2}$$

未収金回転率は未収金の回収速度を示す。高ければ回収が早く、未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示す。これが6回とすれば、未収金はほぼ2ヵ月で回収されていることを示す。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	6.12	5.53	5.14
東 病 院	5.66	5.69	5.94

## (5) 当年度減価償却率（％）

$$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$$

当年度減価償却率は、減価償却費を固定資産の帳簿価格と比較することによって、いかなる減価償却政策をとっているかを明らかにするもので、固定資産に投下された資本の回収状況をみるためのものである。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	6.23	6.01	3.88
東 病 院	6.62	4.05	1.50

## 4. 構成比率（構成部分の全体に対する関係を表すものである。）

## (1) 固定資産構成比率（％）

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$$

固定資産構成比率は、資産合計（固定資産+流動資産+繰延資産）の固定資産の割合を表すものである。減価償却費に近い額が固定資産取得のために借り入れた企業債の償還に充てられることにより、そのまま企業内部へ資金が留保される率も低く、固定資産構成比率は高くなっている。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	86.79	86.41	72.38
東 病 院	65.51	68.68	74.56

## (2) 固定負債構成比率（％）

$$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100 \quad \text{※注1}$$

固定負債構成比率は、総資本中、固定負債が占める割合を示す。事業の負担構成の適正化を判断するもので、比率は小さいほど良好である。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	69.97	72.83	49.26
東 病 院	7.88	8.13	0.00

(3) 自己資本構成比率 (%)  $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$  ※注1

資本構成の安定度をみる指標。施設建設費の財源の多くを企業債により調達しているため、この比率は低くなる傾向にあるが、事業経営の安定化を図るためには、この比率を高めていくことが重要である。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	15.27	13.94	30.09
東 病 院	91.08	91.85	99.99

## 5. その他

(1) 累積欠損金比率 (%)  $\frac{\text{累積欠損金}}{\text{医業収益}} \times 100$

企業活動において、各事業年度に欠損金が生じた場合、剰余金等により補填するわけであるが、それでも補填できない欠損金については、翌年度以降に繰り越すことになる。これら累積された赤字額を累積欠損金という。累積欠損金には減価償却費等の実際に現金支出がない費用も含まれているため、直接経営に必要な資金不足を表すものではないが、より一層の収益性の向上を図ることが求められます。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	69.35	70.02	39.63
東 病 院	△34.60	△ 31.53	△ 30.30

(2) 資金不足比率 (%)  $\frac{\text{(流動負債+建設改良等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高-流動資産)} - \text{解消可能資金不足額}}{\text{事業規模 (医業収益-受託工事収益)}} \times 100$

資金不足比率は、資金不足額を事業規模で除した割合。流動負債とは支払期日が1年以内に訪れる負債のことで、流動資産とは1年以内に換金が可能な預金・未収金等である。この比率が経営健全化基準である20%以上になると経営健全化計画を定めなければならない。

年 度	27年度	26年度	25年度
市立総合病院	△8.62	△ 11.96	△ 13.37
東 病 院	△38.65	△ 33.32	△ 31.35

※注1：平成26年度の地方公営企業会計制度の改正に伴い経営分析に係る指標を変更していますが、平成25年度は会計基準見直し前の指標で算出しています。□

## 別表（6）

## キャッシュ・フロー計算書内訳

（単位：円）

	市立総合病院	東 病 院	平成27年度計	平成26年度計	対前年差引額
(1)業務活動によるキャッシュ・フロー					
当期純利益	△ 222,208,987	10,642,728	△ 211,566,259	△ 2,530,050,703	2,318,484,444
減価償却費	571,102,528	23,767,571	594,870,099	576,015,203	18,854,896
長期前受金戻入額	△ 60,600,117	△ 8,891,714	△ 69,491,831	△ 72,900,927	3,409,096
支払利息及び企業債取扱諸費	73,731,995	102,936	73,834,931	82,237,476	△ 8,402,545
固定資産除却損	5,630,968	0	5,630,968	364,886,439	△ 359,255,471
固定資産売却益	0	0	0	0	0
その他非資金項目の調整	23,544,296	0	23,544,296	△ 21,434,933	44,979,229
未収金の増減額（△は増加）	△ 65,299,371	1,224,944	△ 64,074,427	△ 179,329,925	115,255,498
未払金の増減額（△は減少）	51,893,570	113,936	52,007,506	14,391,888	37,615,618
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 2,597,949	0	△ 2,597,949	6,360,657	△ 8,958,606
引当金の増減額（△は減少）	△ 178,326,056	0	△ 178,326,056	1,883,815,961	△ 2,062,142,017
預り金の増減額（△は減少）	1,669,918	0	1,669,918	2,373,845	△ 703,927
その他資産負債の増減額	0	0	0	△ 27,960	27,960
小計	198,540,795	26,960,401	225,501,196	126,337,021	99,164,175
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 73,731,995	△ 102,936	△ 73,834,931	△ 82,237,476	8,402,545
業務活動によるキャッシュ・フロー	124,808,800	26,857,465	151,666,265	44,099,545	107,566,720
(2)投資活動によるキャッシュ・フロー					
固定資産の取得による支出	△ 334,111,585	△ 7,396,500	△ 341,508,085	△ 3,071,639,753	2,730,131,668
固定資産の売却による収入	0	0	0	0	0
寄附金の受入	200,000	0	200,000	3,300,000	△ 3,100,000
他会計負担金の受入	22,091,000	0	22,091,000	22,382,000	△ 291,000
国庫・道補助金の受入	648,000	0	648,000	386,923,800	△ 386,275,800
修学資金貸付による支出	△ 38,510,000	0	△ 38,510,000	△ 24,510,000	△ 14,000,000
修学資金貸付返還金による収入	6,550,000	0	6,550,000	4,210,000	2,340,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 343,132,585	△ 7,396,500	△ 350,529,085	△ 2,679,333,953	2,328,804,868
(3)財務活動によるキャッシュ・フロー					
一時借入金による収入	400,000,000	0	400,000,000	414,000,000	△ 14,000,000
一時借入金の返済による支出	△ 400,000,000	0	△ 400,000,000	△ 414,000,000	14,000,000
企業債による収入	423,900,000	5,800,000	429,700,000	669,200,000	△ 239,500,000
企業債の償還による支出	△ 718,547,971	0	△ 718,547,971	△ 532,693,636	△ 185,854,335
他会計からの出資による収入	371,647,000	0	371,647,000	278,296,000	93,351,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	76,999,029	5,800,000	82,799,029	414,802,364	△ 332,003,335
資金増加額（又は減少額）	△ 141,324,756	25,260,965	△ 116,063,791	△ 2,220,432,044	2,104,368,253
資金期首残高	215,119,894	103,294,178	318,414,072	2,538,846,116	△ 2,220,432,044
資金期末残高	73,795,138	128,555,143	202,350,281	318,414,072	△ 116,063,791



## 別表 (7)

## 医療費未収金 (患者負担分)

(市立総合病院)

区 分 \ 年 度	平 成 27 年 度		平 成 26 年 度	
	現 年 度	過 年 度	現 年 度	過 年 度
調 定 額 (円)	807,227,642	80,525,364	790,085,368	89,179,339
収 入 済 額 (円)	740,420,484	49,017,435	737,851,988	52,780,932
収 入 率 (%)	91.72	60.87	93.39	59.19
収 入 未 済 額 (円)	66,807,158	31,507,929	52,233,380	36,398,407
不 納 欠 損 額 (円)	0	2,506,785	0	2,832,910

(東病院)

区 分 \ 年 度	平 成 27 年 度		平 成 26 年 度	
	現 年 度	過 年 度	現 年 度	過 年 度
調 定 額 (円)	54,098,473	4,207,390	53,029,105	4,189,680
収 入 済 額 (円)	49,718,150	3,920,010	48,885,165	4,103,390
収 入 率 (%)	91.90	93.17	92.19	97.94
収 入 未 済 額 (円)	4,380,323	287,380	4,143,940	86,290
不 納 欠 損 額 (円)	0	0	0	0

## 別表 (8)

## 医業収益に対する費用項目の比率

(市立総合病院分)

(単位・%)

区 分	平成 27 年 度		平成 26 年 度	
	5 病院平均値	名 寄 市	5 病院平均値	名 寄 市
総 費 用	115.1	114.1	138.9	149.6
医業費用	109.7	108.5	111.6	109.9
職員給与費	51.8	59.8	51.9	59.2
材料費	27.4	26.2	27.1	25.7
減価償却費	9.2	7.2	9.2	7.5
その他医業費用	21.3	15.3	23.3	17.6
医業外費用	5.3	4.6	5.5	5.0
支払利息	1.3	0.9	1.5	1.1
その他医業外費用	2.9	3.7	2.8	3.9
特別損失	0.2	1.1	21.8	34.8
純 利 益	△2.9	△2.8	△27.4	△33.7

## 《 5 病院平均値 》

類似規模の 5 市立病院（岩見沢市、苫小牧市、稚内市、江別市、砂川市）平均値

## 《 職員給与費 》

本表の職員給与費比率は、給与費（退職手当費、児童手当及び報酬は含まない）／医業収益で算出し、別表(4)の給与費比率は給与費（退職手当費、児童手当及び報酬を含む）／総収益で算出しています。